

病院事業概要

令和 1 年度版



真生会富山病院

目 次

1. 総括
2. 沿革
3. 外来別患者数
4. 入院患者数・平均在院日数
5. リハビリ業務状況
6. 人間ドック利用状況・処方箋・注射手技
7. 内視鏡業務の実績
8. 検査科業務状況
9. 手術件数
10. 業績集（医師、看護部、地域医療部、PTS 推進室、
訪問看護ステーションこころ、診療情報管理室、
臨床心理科、緩和ケア内科、医事課、医療秘書科、
リハビリテーション科、食膳栄養科、薬剤科、検査科
視能訓練科）
11. 令和 1 年度法人事業計画 方針・行動計画
12. 令和 1 年度 10 大ニュース

”Beautiful Harmony”

院長 真鍋恭弘

令和元年度は、令和の英訳”Beautiful Harmony” のとおり、皆さんの力がとても美しい調和のもとに結集し大きな成果を残すことができました。

まずは、効率性係数全国第1位の取得です。効率性係数とは、入院での平均在院日数がどれほど短くなったかという指標です。単純に短くするのでは意味がなく、患者満足度を低下させることなく適切に短縮させるには、関連する部門はもちろん、それを支える部門の人たちも含め、全員が患者さんの安心満足を目指し、協力し合わねば成果となりません。

一人一人が自分の役割を自覚し十二分に力を発揮できたことが、今回の結果につながったのだと思います。皆の力が結実したプロジェクトとして、ローコスト活動もいろいろな学びが得られた素晴らしい取り組みでした。特に、諦めないことの重要性を強く感じたのが印象に残っています。これ以上は無理ではないかと思う困難な課題に対しても諦めることなく検討を続け、見事に解決できたのは、まさに皆さんの粘り勝ちでした。松下幸之助氏が言われるとおり「成功しないのは成功するまで続けないからだ」です。

さて、令和元年度末は新型コロナ対策が動き出しています。一年後、世界がどうなっているか、まったく予想ができませんが、私たちが目指す真生会の理念こそ

は、どんな困難に遭遇しても私たちを導いてくれる道標です。これからもブレることなく、理念が示す医療の実現に邁進しましょう。

医療法人 真生会 真生会富山病院 沿革

沿革		
S	63年 (1988年)	○真生会富山医院建設工事着工
	63年11月 (1988年)	○真生会富山医院竣工オープン(6室13床)(現:管理棟)
H	4年9月 (1992年)	○医療法人として発足
	6年8月 (1994年)	○クリニック棟工事着工(現:管理棟)、歯科棟建設工事着工
	7年1月 (1995年)	○クリニック棟竣工オープン(一般10室19床)(現:管理棟) 診療科(内科、小児科、眼科、胃腸科、循環器科、皮膚科、精神科)に加えて(神経内科、耳鼻科、整形、神経科、歯科)
	7年1月 (1995年)	○歯科棟竣工オープン
	10年10月 (1998年)	○託児施設『木の子ハウス』竣工オープン
	12年4月 (2000年)	○真生会富山病院竣工オープン (一般99床:さくら・わかば病棟オープン)(現:本館)
	14年7月 (2002年)	○DICOM画像システム稼動
	16年2月 (2004年)	○リハビリ棟竣工オープン
	16年3月 (2004年)	○本館MRI入れ替え (MRI MAGNETOM SYMPHONY 1.5T SIEMENS社製)
	16年5月 (2004年)	○広報誌『和顔愛語』発刊(創刊号)
	17年5月 (2005年)	○健診ステーション開設
	18年4月 (2006年)	○訪問看護ステーションこころ開設
	18年6月 (2006年)	○本館CT入れ替え (CT MDCT Aquilion16 東芝メディカル社製)
	18年12月 (2006年)	○人工透析室の開設
	19年4月 (2007年)	○内科専門外来開始
	19年5月 (2007年)	○電子カルテ稼動

医療法人 真生会 真生会富山病院 沿革

沿革		
H	19年10月 (2007年)	○血管形成術開始
	20年4月 (2008年)	○内科、小児科、消化器科、整形外科、外科、皮膚科、 泌尿器科、眼科、耳鼻科、心療内科、歯科 診療科が11科に増える
	20年4月 (2008年)	○病棟(わかば、さくら)に 入院患者専用のインターネット利用コーナー開設
	20年6月 (2008年)	○呼吸器内科開始、消化器科改め消化器内科に改名
	21年9月 (2009年)	○糖尿病・代謝内科、腎臓内科、血液内科開始
	21年9月 (2009年)	○南館竣工オープン(アイセンター・あやめ病棟オープン)
	21年10月 (2009年)	○心療内科リニューアルオープン
	21年11月 (2009年)	○消化器内科リニューアルオープン
	22年5月 (2010年)	○歯科棟リニューアルオープン
	22年5月 (2010年)	○地域医療連携室リニューアルオープン
	22年6月 (2010年)	○健診センターリニューアルオープン
	23年5月 (2011年)	○厨房リニューアル
	23年10月 (2011年)	○(財)日本医療機能評価機構が定める 病院機能評価の認定(Ver.6.0)を受審
	24年3月 (2012年)	○入院基本料7対1の取得
	24年3月 (2012年)	○眼科にiFS フェムトセカンドレーザー導入(AMO社製)
	24年6月 (2012年)	○第一回 健康セミナー開催「食べて出す健康法」「便秘に効くデルデル呼吸」
	24年8月 (2012年)	○広報誌『地域連携だより』発刊(創刊号)

医療法人 真生会 真生会富山病院 沿革

沿革		
H	24年11月 (2012年)	○夕方外来受付時間の変更(16:00～19:30 → 16:00～19:00)
	24年12月 (2012年)	○院内暴力対策訓練(第一回)
	25年9月 (2013年)	○第29回日本視機能看護学会学術総会(主管 真生会富山病院)
	26年4月 (2014年)	○緩和ケア内科 新設
	26年11月 (2014年)	○セカンドホームほのか(住宅型有料老人ホーム)竣工
	26年11月 (2014年)	○大連医科大学と医療技術交流スタート
	26年11月 (2014年)	○館医師(大連医科大学)客員教授に任命
	26年12月 (2014年)	○真生会デンタルクリニックリニューアルオープン
	27年4月 (2015年)	○瀋陽市第四人民医院と協力(友好)関係協定調印
	27年4月 (2015年)	○館医師(瀋陽市第四人民医院)客員教授に任命
	27年5月 (2015年)	○外国人医師研修指定病院に登録
	27年10月 (2015年)	○透析室リニューアルオープン
	27年10月 (2015年)	○地域包括ケア病棟 開設(さくら病棟)
	27年12月 (2015年)	○病院15周年記念講演会の開催
	28年10月 (2016年)	○(財)日本医療機能評価機構が定める病院機能評価の認定(一般病院1)を更新
	28年12月 (2016年)	○射水市消防本部と合同で初めての救急症例勉強会を開催
	28年12月 (2016年)	○公式テレビCM完成
	29年2月 (2017年)	○病院総合パンフレット発刊(初版)

医療法人 真生会 真生会富山病院 沿革

沿革		
	29年3月 (2017年)	○外国人患者の身元保証機関に登録
	29年5月 (2017年)	○消化器センター開設
	29年6月 (2017年)	○駐車場改修工事実施
	29年10月 (2017年)	○新人事制度導入
	30年3月 (2018年)	○真生会グループロゴ作成
	30年4月 (2018年)	○形成外科 新設
	30年4月 (2018年)	○第1回真生会地域連携懇話会開催
	30年5月 (2018年)	○南館増築工事竣工
	30年5月 (2018年)	○腎透析センター開設
	30年5月 (2018年)	○糖尿病センター開設
	30年7月 (2018年)	○病棟の入れ替え実施、地域包括ケア病棟 変更(わかば病棟)
	30年7月 (2018年)	○JMIPの認証取得
	30年8月 (2018年)	○本館CT入れ替え(CT SOMATOM Perspective SIEMENS 社製)
	30年8月 (2018年)	○何氏(かし)眼科病院との友好協定に調印
	30年9月 (2018年)	○創立30周年記念行事 感謝の集い開催
R	1年5月 (2019年)	○患者支援センター開設
	1年10月 (2019年)	○保育事業委託(スクルドアンドカンパニー)
	1年11月 (2019年)	○田中内科クリニック承継

患者の状況

外来患者数(令和1年度)

(単位:人)

月	内科	透析	消化器内科	外科	整形外科	小児科	耳鼻咽喉科	眼科	皮膚科	泌尿器科	緩和ケア内科	麻酔科	形成外科	心療内科	リハビリ科	歯科	人間ドック	企業健診等	時間外(昼)	時間外(夜)	計(月)
4	4,256	895	1,243	436	2,412	663	2,053	4,013	2,370	489	47	42	362	569	1,547	1,155	59	218	262	147	23,238
5	4,282	916	1,184	542	2,536	644	1,975	3,897	2,530	498	46	35	402	614	1,555	1,095	100	231	442	144	23,668
6	4,024	875	1,279	507	2,530	655	1,911	4,011	2,465	472	43	48	402	572	1,581	1,007	95	1,038	157	118	23,790
7	4,599	991	1,381	538	2,624	739	1,917	4,217	2,855	564	59	51	477	665	1,722	1,114	106	1,151	223	175	26,168
8	4,488	955	1,317	586	2,518	563	1,812	3,996	2,820	505	58	58	433	634	1,518	1,052	127	881	269	123	24,713
9	4,166	916	1,278	497	2,385	656	1,795	3,994	2,525	526	44	41	438	616	1,402	949	110	976	386	99	23,799
10	4,546	975	1,365	463	2,375	766	1,910	4,178	2,271	530	52	50	398	639	1,437	1,023	110	1,268	207	122	24,685
11	4,411	947	1,300	431	2,358	1,143	1,742	4,013	2,344	499	57	40	304	587	1,441	987	94	941	263	109	24,011
12	4,614	984	1,438	455	2,278	1,061	1,869	4,102	2,341	551	48	44	394	651	1,304	964	68	646	78	133	24,023
1	4,645	1,001	1,321	362	2,268	660	1,658	3,642	2,341	503	40	40	436	590	1,259	937	68	271	391	127	22,560
2	3,903	878	1,198	361	2,093	635	1,950	3,583	2,234	471	46	46	319	517	1,206	923	59	291	236	82	21,031
3	4,005	956	1,242	409	2,169	454	1,787	4,127	2,403	477	39	42	437	628	1,306	968	44	229	147	96	21,965
計	51,939	11,289	15,546	5,587	28,546	8,639	22,379	47,773	29,499	6,085	579	537	4,802	7,282	17,278	12,174	1,040	8,141	3,061	1,475	283,651

外来患者数(平成30年度)

月	内科	透析	消化器内科	外科	整形外科	小児科	耳鼻咽喉科	眼科	皮膚科	泌尿器科	緩和ケア内科	麻酔科	形成外科	心療内科	リハビリ科	歯科	人間ドック	企業健診等	時間外(昼)	時間外(夜)	計
計	49,971	9,105	15,911	5,261	28,507	8,976	22,530	46,141	30,100	5,997	340	506	4,175	6,797	17,289	15,255	1,000	7,544	2,822	1,990	280,217

患者の状況

入院患者平均在院日数(令和1年度)

(単位:日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1年 (年間)	30年 (年間)
わかば	13.8	11.2	9.4	11.5	10.9	12.3	11.7	9.6	9.8	10.7	12.2	12.7	11.3	11.5
さくら	9.7	9.4	8.3	9.8	8.8	9.7	9.1	9.1	8.9	8.9	8.9	8.9	9.1	9.8
あやめ	3.3	3.6	3.3	3.4	2.9	3.4	3.1	3.3	3.5	3.1	3.2	2.9	3.2	3.5
全体	9.0	8.2	7.3	8.3	7.4	8.7	8.0	7.5	7.5	7.9	8.0	7.7	8.0	8.6

入退院患者数(令和1年度)

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1年合計	30年合計
わかば	136	191	183	195	192	175	180	223	229	191	160	146	2,201	2,101
さくら	220	226	223	229	248	215	251	245	246	228	234	243	2,808	2,640
あやめ	309	321	323	369	382	319	370	371	366	339	320	358	4,147	3,824
合計	665	738	729	793	822	709	801	839	841	758	714	747	9,156	8,565

入院患者延数(令和1年度)

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1年合計	30年合計
わかば	1,211	1,212	1,046	1,345	1,256	1,271	1,267	1,247	1,291	1,234	1,186	1,140	14,706	14,589
さくら	1,264	1,245	1,123	1,325	1,288	1,267	1,351	1,285	1,253	1,226	1,219	1,237	15,083	15,492
あやめ	545	599	544	654	567	565	603	631	645	565	515	535	6,968	7,067
合計	3,020	3,056	2,713	3,324	3,111	3,103	3,221	3,163	3,189	3,025	2,920	2,912	36,757	37,148

令和1年度リハビリ業務の状況

(単価:人) (単価:人)

	令和1年(年間)	平成30年(年間)
脳血管疾患等リハビリテーション	1,531	1,815
廃用症候群リハビリテーション	2,892	3,375
運動器リハビリテーション	13,986	13,859
呼吸器リハビリテーション	2,205	2,238
がん患者リハビリテーション	1,381	1,480
計	21,995	22,767

令和1年人間ドック等の利用状況

(単価:人)

		令和1年度	平成30年度
ドック		1,040	992
健康診断	会社	990	884
	一般(自費)	469	478
	生活習慣病予防健診	1,501	1,400
住民健診	健康診査	1,414	1,506
	胃がん検診	912	912
	大腸がん検診	1,027	1,045
	肺がん検診	931	948
	前立腺がん検診	249	219
	射水市肝炎ウイルス検診	41	60
富山県肝炎ウイルス検査		11	6
富山県風疹抗体検査		9	31
合計		8,594	8,481

薬剤科業務の状況/処方箋の状況

(単価:枚)

		令和1年度	平成30年度
処方箋枚数	入院	14,224	15,258
	外来(院内・院外)	168,839	167,501
	合計	183,063	182,759

注射手技の状況

(単価:件)

	令和1年度	平成30年度
点滴	15,717	13,690
筋注	5,249	4,445
静脈	3,920	1,040
合計	24,886	19,175

内視鏡業務の実績

(単価:件数)

	令和1年度	平成30年度
上部消化管内視鏡件数(治療90件)	4,670	4,529
下部消化管内視鏡件数(治療456件)	1,421	1,358
内視鏡的膵胆管造影件数(治療36件)	45	65
経皮経肝胆管ドレナージ術等	7	4
早期胃癌に対する粘膜下層剥離術	17	14
消化管ステント術	6	5
肝癌に対する肝動脈化学塞栓術	11	9
肝癌に対するラジオ波焼灼療法	4	4
胃瘻造設術	32	27
小腸カプセル内視鏡	10	6
大腸カプセル内視鏡		2
計(項目がかぶっているものは除く)	6,168	5,975

検査科業務集計 令和1年度

	生化学	血液	尿・一般	生理	超音波	輸血	細菌	病理	細胞診	免疫	迅速検査キット	血液ガス
4月	3,602	3,914	2,198	1,379	442	26	223	121	33	995	327	36
5月	3,549	4,001	2,316	1,506	463	24	222	109	35	937	297	45
6月	3,646	4,024	2,593	1,553	512	24	216	122	38	1,018	168	52
7月	3,903	4,237	2,806	1,648	534	23	283	133	33	1,077	197	23
8月	3,718	4,118	2,583	1,613	515	28	253	149	39	1,001	178	35
9月	3,587	3,951	2,430	1,538	487	35	195	129	23	1,006	235	35
10月	3,618	4,044	2,624	1,475	471	27	234	165	23	1,082	257	32
11月	3,526	3,944	2,278	1,539	448	30	207	159	24	995	391	29
12月	3,469	3,906	1,998	1,247	458	14	169	172	28	994	763	30
1月	3,562	4,028	2,242	1,365	397	21	200	154	26	1,061	806	33
2月	3,411	3,800	2,274	1,392	392	19	213	166	31	1,049	456	29
3月	3,496	3,963	1,956	1,260	369	23	221	163	29	1,023	333	26
令和1年度 合計	43,087	47,930	28,298	17,515	5,488	294	2,636	1,742	362	12,238	4,408	405
平成30年度 合計	41,480	44,773	26,669	20,372	5,810	242	3,249	1,597	359	11,178	4,754	573

* 血液検査: 血液算定、血液凝固検査、全血簡易検査(トロップT、HFABB)

* 尿・一般: 尿定性、便潜血

* 生理検査: 心電図、超音波検査、脈波検査、肺活量、脳波、神経伝導

* 迅速検査キット: ウイルス検査(インフルエンザ、 β 溶連菌、マイコプラズマ、RSV、アデノV、肺炎球菌、ロタV、ノロV、プロカルシトシン、CD毒素)

* 感染症(TPHA、HBs、HCV)、免疫(TSH、FT3、FT4、CA19-9、CEA)

令和1年手術件数

皮膚科 手術、検査、美容手技件数 令和1年(2019年)		
内容	内訳	件数
手術	ほくろのレーザー治療、良性腫瘍摘出術	372
	嵌入爪手術	12
	皮膚悪性腫瘍摘出術	2
検査	皮膚生検	56
	パッチテスト	30
検査	シミ、あざのレーザー治療	323
	イオン導入、超音波導入	145
	ピアス	108
令和1年合計		1,048
平成30年合計		972

形成外科手術件数 令和1年(2019年)	
手術内容	件数
皮下良性腫瘍	387
皮膚悪性腫瘍(皮膚がん)	14
軟部腫瘍	8
皮下膿瘍の切開	59
陥入爪(巻き爪)	26
切り傷の縫合	24
骨髄炎、足壊疽	15
瘢痕・ケロイド(キズあと)	10
眼瞼下垂	6
熱傷(やけど)、皮膚潰瘍	5
腋臭症(わきが)	2
その他(耳垂裂、耳瘻孔、毛巣洞、白斑、神経断裂など)	10
令和1年合計	566
平成30年合計	395

令和1年手術件数

整形外科手術件数 令和1年(2019年)	
手術内容	件数
骨折観血の手術	69
脊椎手術	9
肩関節鏡視下手術	122
人工肩関節置換術	19
人工股関節置換術	48
人工膝関節置換術	8
膝関節鏡視下手術	3
関節形成術	2
人工骨頭挿入術	13
腫瘍摘出術	0
腱縫合術	10
神経縫合、剥離術	1
その他(骨切り、抜釘、腱鞘切開等)	21
令和1年合計	325
平成30年合計	354

整形外科 肩関節鏡手術件数 令和1年(2019年)	
手術内容	件数
ARCR(鏡視下腱板断裂修復術)	167
SCR(上方関節包再建術)	27
TSA(RSA)(人工関節置換術;主にリバースショルダー)	22
令和1年合計	216
平成30年合計	183

令和1年手術件数

外科手術件数 令和1年(2019年)		
手術内容	内訳	件数
がん切除術(計25件)	胃がん(胃切除術, 胃全摘術)	4
	大腸がん(結腸・直腸切除術)	21
小腸切除術(悪性腫瘍手術以外の切除術)		1
胃腸吻合術(ブラウン吻合を含む)		4
人工肛門造設術		7
人工肛門閉鎖術(腸管切除を伴う)		1
腸管癒着症手術		1
腹腔鏡下虫垂切除術		18
胆嚢摘出術(腹腔鏡、開腹)		36
試験開腹術		1
肛門手術		21
鼠径ヘルニア手術		33
その他ヘルニア手術		5
中心静脈ポート植込術		30
腹膜透析カテーテル挿入術		4
皮膚・皮下腫瘍摘出術		6
その他		9
令和1年合計		202
平成30年合計		172

令和1年手術件数

眼科手術件数 令和1年(2019年)	
手術内容	件数
増殖性硝子体網膜症手術、 黄斑下手術などを含む硝子体手術 (うち白内障手術、眼内レンズ挿入術との同時手術 324件)	491
網膜復位術	9
白内障手術(超音波摘出術、囊外摘出術、囊内摘出術) 眼内レンズ挿入術	2,130
緑内障手術 (うち白内障手術、眼内レンズ挿入術との同時手術 134件)	216
涙道手術	110
斜視手術	22
眼瞼手術	96
その他の観血手術(翼状片手術など)	201
エキシマレーザー	60
ICL	96
光線力学療法	10
後発白内障手術	402
網膜光凝固術	323
令和1年合計	4,166
平成30年合計	3,562

麻酔科手術件数 令和1年(2019年)	
麻酔内容	件数
全身麻酔	647
脊髄くも膜下麻酔(腰椎麻酔)	8
その他	1
麻酔科管理症例(令和1年合計)	656
麻酔科管理症例(平成30年合計)	625

令和1年手術件数

耳鼻科 手術件数 令和1年(2019年)		
手術内容	内訳	件数
耳領域 (計98件)	鼓膜形成術	16
	鼓室形成手術(耳小骨温存術)	22
	鼓室形成手術(耳小骨再建術)	20
	乳突削開術	25
	乳突充填術	2
	アブミ骨摘出術	2
	アブミ骨可動化手術	1
	外耳道形成手術	2
	外耳道腫瘍摘出術	1
	先天性耳瘻管摘出術	2
	上鼓室開放術	1
	内耳窓閉鎖術	1
	顔面神経管開放術	3
鼻副鼻腔領域 (計154件)	内視鏡下鼻・副鼻腔手術4型(汎副鼻腔手術)	53
	内視鏡下鼻・副鼻腔手術3型 (選択的(複数洞)副鼻腔手術)	11
	内視鏡下鼻・副鼻腔手術2型 (副鼻腔単洞手術)	6
	内視鏡下鼻中隔手術1型(骨、軟骨手術)	40
	内視鏡下鼻腔手術1型(下鼻甲介手術)	18
	経鼻腔的翼突管神経切除術	11
	鼻骨骨折徒手整復術	12
	鼻骨変形治癒骨折矯正術	1
	変形外鼻手術	1
	眼窩骨折観血的手術 (眼窩ブローアウト骨折手術を含む)	1
咽喉頭頸部 領域(計55件)	口蓋扁桃手術(摘出)	17
	軟口蓋形成手術	7
	アデノイド切除術	5
	喉頭ポリープ切除術(直達喉頭鏡)	4
	気管切開術	3
	唾石摘出術(表在性)	3
	唾石摘出術(腺体内に存在)	2
	顎下腺摘出術	2
	甲状腺悪性腫瘍手術(切除)	2
	甲状腺部分切除術、 甲状腺腫摘出術(片葉のみ)	2
	耳下腺腫瘍摘出術(耳下腺浅葉摘出術)	2
	喉頭腫瘍摘出術(直達鏡)	1
	深頸部膿瘍切開術	2
	リンパ節摘出術(長径3cm未満)	1
	嚥下機能手術(喉頭気管分離術)	1
	頬粘膜腫瘍摘出術	1
令和1年合計		307
平成30年合計		240

令和1年手術件数

泌尿器科手術件数 令和1年(2019年)	
手術内容	件数
経尿道的膀胱悪性腫瘍手術	5
経尿道的尿管ステント抜去術	2
経皮的腎瘻造設術	3
環状切除術	2
膀胱瘻造設術	1
令和1年合計	13
平成30年合計	16

日帰り治療件数 令和1年(2019年)		
内容	内訳	件数
化学療法 (計456件)	内科	186
	外科	218
	消化器内科	52
レミケード (計78件)	整形外科	10
	皮膚科	13
	消化器内科	41
	眼科	14
	内科	0
アクテムラ		66
オレンシア		91
エンタイビオ		19
輸血		13
補液		382
内服抗癌剤		231
令和1年合計		1,336
平成30年合計		983

【令和1年度医師業績集】

名前	刀塚 俊起（なたづか としき）	
発表業績(学会)	「Romidepsinにより寛解を得た末梢性T細胞リンパ腫の一例」 第37回日本血液学会北陸地方会(石川県立中央病院) 刀塚 俊起,瀬川 莉恵子	令和1年7月27日

名前	平谷 和幸（ひらたに かずゆき）	
発表業績(論文)	「Treatment of Patient with Diabetic Nephropathy using Chinese Prescription Kangen-karyu」 Archives of Clinical and Medical Case Reports Arch Clin Med Case Rep 2019; 3 (5): 261-268 Kazuyuki Hiratani MD, PhD, Masahiro Shoji, Makoto Osanai, Liye Zhang MD, PhD, Chan Hum Park PhD, Toshiki Natazuka MD, PhD, Takako Yokozawa PhD	令和1年
発表業績(学会)	「シェーグレン症候群を合併した1型糖尿病の1症例」 第93回日本糖尿病学会中部地方会 福井フェニックスプラザ 平谷 和幸,横山 敏啓	令和1年9月7日～ 令和1年9月8日
	「1型糖尿病患者におけるFree Style リブレの血糖コントロール等に及ぼす有用性についての検討」 第62回日本糖尿病学会年次学術集会(仙台) 平谷 和幸,鴨林 涼,横山 敏啓,清水 和彦	令和1年5月23日

名前	横山 敏啓（よこやま としひろ）	
発表業績(学会)	「特発性血小板減少性紫斑病を合併した、抗GAD抗体陽性1型糖尿病の1例」 第93回日本糖尿病学会中部地方会 福井フェニックスプラザ 横山 敏啓,刀塚 俊起,平谷 和幸	令和1年9月7日～ 令和1年9月8日

名前	吉崎 達郎（よしざき たつお）	
発表業績(著書)	子育てハッピーアドバイス 小児科の巻(増補改訂版) 1万年堂出版 吉崎達郎 / 明橋大二ほか(著)	令和1年7月

名前	河相 覚（かわい さとる）	
発表業績(講演)	「セッション『死が近づいたとき』」 令和元年度富山大学附属病院緩和ケアフォローアップ研修会 講師 河相 覚	令和2年1月19日

名前	本藤 有智（もとふじ ゆうち）	
発表業績(学会)	「極めて短期間に再発した虚血性大腸炎の一例」 第128回日本消化器病学会北陸支部例会 本藤 有智,平名 浩史,河相 覚,真野 鋭志	令和1年6月9日

【令和1年度医師業績集】

名前	太田 悟（おおた さとる）	
発表業績（論文）	「Archives of Orthopaedic and Trauma Surgery」 Published 05 December 2019 https://doi.org/10.1007/s00402-019-03316-2 Outcomes of superior capsule reconstruction for massive rotator cuff tears and risk factors for postoperative retear Satoru Ohta, Osamu Komai, Yuuki Onochi	令和1年
	「シヤルコー肩関節に対するリバーズ型人工肩関節置換術後に、ステム周囲骨折をきたし再置換術を施行した1例」 日本人工関節学会誌 ; 49 (2019) p. 735-736 太田 悟, 駒井 理	令和1年
	「一次修復困難な腱板広範囲断裂に対する上方関節包再建術とリバーズ型人工肩関節置換術の術後成績の比較検討」 肩関節 ; 43 (2019) No.2 p. 542-547 太田 悟, 駒井 理	令和1年
	「Postoperative Outcomes and Rehabilitation Period of Arthroscopic Rotator Cuff Repair in Patients with Diabetes」 International Journal of Orthopaedics, 2019 April 28; 6(2): 1061-1065 Satoru Ohta, MD, Osamu Komai, MD, Kazuyuki Hiratani, MD	令和1年
	「リウマチ性多発筋痛症に対する肩関節手術後にRAの診断基準を満たした2症例」 臨床整形外科 ; 54 (2019) No.5 p. 535-541 太田 悟, 駒井 理	令和1年
発表業績（学会）	「肩関節手術後にRAの診断基準を満たした症例の検討」 第34回日本臨床リウマチ学会 太田 悟	令和1年11月30日
	「70歳未満の一次修復不能な腱板断裂のSCRの治療成績」 第46回日本肩関節学会 太田 悟	令和1年10月26日
	「肩関節手術後にRAの診断基準を満たした4症例」 第48回北陸リウマチ・関節研究会 太田 悟	令和1年7月21日
	「Postoperative Results of Combined Superior Capsular Reconstruction for Arthroscopic Partial Rotator Cuff Repair for Massive Rotator Cuff Tear」 第11回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科科学会 太田 悟	令和1年6月14日
	「肩とリウマチの治療戦略」～滑膜病理を用いて～ 自己免疫疾患WEB Seminar 太田 悟	令和1年11月28日
発表業績（講演）	「高齢RA患者を適切に診療するためのポイント～肩関節滑膜病理の知見もふまえて～」 HUMIRA インターネットライブセミナー 太田 悟	令和1年11月20日
	「ここがポイント！～肩とリウマチ疾患の診療～」 肩・リウマチ疾患を考える 射水市 ～内科と整形外科をつなぐ会～ 太田 悟	令和1年8月29日
	「肩関節疾患とリウマチ治療について」 第500回高岡市内科医会学術講演会(特別講演) 太田 悟	令和1年7月18日
	「リウマチと肩関節治療について」 第3回リウマチを考える会in射水(特別講演) 太田 悟	令和1年5月30日

名前	柳原 誠（やなぎはら まこと）	
発表業績（論文）	「Trichophyton behamiae (Group II) (旧名 Arthroderma benhamiae (Group II)) による体部白癬」 皮膚病診療; 41(6), 523-526. 柳原 誠(真生会富山), 安澤 数史(金沢医大皮膚), 花川 博義(真生会富山), 望月 隆(金沢医大皮膚)	令和1年
発表業績（講演）	「真生会富山病院(2005-2019)で経験した皮膚真菌症」 真菌講演会 柳原 誠(真生会富山), 安沢 数史(金沢医大皮膚科), 河崎 昌子(元金沢医大皮膚科), 花川 博義(真生会富山), 梅原 康次(真生会富山), 望月 隆(金沢医大皮膚科)	平成31年4月18日
発表業績（症例発表）	「アポクリン汗腺および脂腺様変化をともなったPoroid tumor」 富山大学症例検討会 柳原 誠, 梅原 康次, 花川 博義	令和1年11月19日

名前	梅原 康次（うめはら こうじ）	
発表業績（講演）	「人類を幸せに導く、21世紀の医療」 MIBYOオープニングセレモニー 梅原 康次	令和1年11月16日
	「教えてください！人を助けるって、どういことですか？」 ナディアパーク(名古屋市) 梅原 康次	令和1年6月
発表業績（症例発表）	「私の工夫 早くてきれいな粉瘤切除法、頭部のガーゼ固定法」 富山大学皮膚科医局会 梅原 康次	令和2年3月19日
	「腹部に生じた顆粒細胞腫の1例」 富山大学症例検討会(病理組織学的検討) 梅原 康次, 花川 博義, 柳原 誠	令和1年12月12日
発表業績（その他）	「フィブラストスプレーと私 ～流行り廃りがないのが実力者の証～」 科研製薬社内勉強会 梅原 康次	令和1年9月19日

【令和1年度医師業績集】

名前	館 奈保子(たち なおこ)	
発表業績(学会)	「硝子体手術後のドルーゼン縮小の10年経過」 第58回日本網膜硝子体学会総会 館 奈保子, 植田 芳樹, 朝比奈 祐一, 谷村 直紀, 芳村 賀洋子, 橋本 義弘	令和1年12月6日～ 令和1年12月7日
	「糖尿病黄斑浮腫に対する黄斑下洗浄術の成績」 第73回日本臨床眼科学会 館 奈保子	令和1年10月25日
	「糖尿病黄斑浮腫に対する黄斑囊胞切開術の1年成績」 第34回日本糖尿病合併症学会 第25回日本糖尿病眼科学会 館 奈保子, 植田 芳樹, 朝比奈 祐一, 谷村 直紀, 芳村 賀洋子, 橋本 義弘	令和1年9月28日
	「糖尿病黄斑浮腫に対する黄斑下洗浄術の成績」 第29回愛知眼科フォーラム 館 奈保子, 植田 芳樹, 朝比奈 祐一, 谷村 直紀, 橋本 義弘	令和1年9月1日
発表業績(講演)	「Surgical Management of Diabetic Macular Edema」 西安市第一病院国際眼科シンポジウム 館 奈保子	平成31年4月21日
	「日本の医師の人材教育について」 遼寧省医師会眼科分会 館 奈保子	平成31年4月20日

名前	植田 芳樹(うえた よしき)	
発表業績(論文)	「外傷性涙小管断裂からヒントを得た重症ドライアイに対する涙小管偏位術」 眼科 Vol61 No5 P533-537, 2019 植田 芳樹, 佐々木 次壽, 館 奈保子, 橋本 義弘, 小林 英則, 芳村 賀洋子	令和1年
	「デクスメトミジンをを用いた涙嚢鼻腔吻合術」 あたらしい眼科 Vol36(1): 107-110, 2019 植田 芳樹, 館 奈保子, 橋本 義弘, 朝比奈 祐一, 芳村 賀洋子	令和1年
発表業績(学会)	「総涙小管閉塞症の閉塞期間と治療成績の関連性」 第81回富山眼科集談会 植田 芳樹, 館 奈保子, 橋本 義弘, 朝比奈 祐一, 谷村 直紀, 芳村 賀洋子	令和1年11月24日
	「眼瞼下垂手術における鹿嶋法の有効性」 第80回富山眼科集談会 植田 芳樹, 館 奈保子, 橋本 義弘, 朝比奈 祐一, 小林 英則, 芳村 賀洋子	令和1年6月2日

名前	真鍋 恭弘(まなべ やすひろ)	
発表業績(学会)	「耳管開放症に対する実虚スコアを用いた漢方薬治療」 第8回金沢漢方医学シンポジウム(石川県) 真鍋 恭弘	令和2年2月22日
	「対人援助論で医療介護は成り立つのか」 第13回対人援助スピリチュアルケア研究会(福岡県) 真鍋 恭弘	令和1年10月12日
	「病因に応じ対応した外耳道真珠腫の4例」 第29回日本耳科学会(山形県) 真鍋 恭弘	令和1年10月11日
	「耳管開放症に対する漢方薬の効果」 第6回耳管開放症研究会(東京) 真鍋 恭弘, 徳永 貴広	令和1年7月4日
発表業績(その他)	「学会(研究会)の開催」 富山県奥西地区耳鼻咽喉科症例研究会(主催)(高岡) 真鍋 恭弘	令和1年11月14日
発表業績(著書)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科 特集 耳管診療の手引き(医学書院)	令和1年7月

名前	徳永 貴広(とくなが たかひろ)	
発表業績(学会)	「Advanced malignancy found incidentally with internal jugular venous thrombosis: a report of two cases」 15th Japan-Taiwan Conference on Otolaryngology-Head and Neck Surgery T.Tokunaga, T.Morikawa, Y.Kimura, M.Okamoto, T.Takabayashi, N.Narita, Y.Manabe, S.Fujieda	令和1年12月6日
	「副鼻腔炎・アレルギー性鼻炎の最近の話題 -One airway, one disease-」 奥西地区Wの会学術講演会 徳永 貴広	令和1年5月16日
	「顎下腺唾石症に対する顕微鏡下唾石摘出術の検討」 第120回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会 徳永 貴広, 真鍋 恭弘	令和1年5月8日
	「鼻閉改善を目的とした外鼻形成手術例の検討」 第72回日本耳鼻咽喉科学会富山県地支部学術講演会 徳永 貴広, 真鍋 恭弘	平成31年4月7日

【令和1年度医師業績集】

名前	明橋 大二(あけはし だいじ)	
発表業績(テレビ・新聞)	「児童虐待について」 こんにちは 富山県です(北日本放送)	令和1年6月8日
	「HSPについて」 ニュース富山人(NHK富山放送局)	令和1年6月4日
	「長期休暇明けの子どものメンタルヘルス」 産経新聞	令和1年5月6日
	「HSCについて」 東京MXテレビ	平成31年4月20日
	「体罰について」 テレビ朝日「報道ステーション」出演	平成31年3月19日
	「毎日小学生新聞」	令和1年
	「HSCについて」 読売新聞全国版	令和1年
	「HSCについて」 西日本新聞	令和1年
	「コノコト」 北日本新聞	令和1年
発表業績(連載)	「品川区子育てアプリ」 (連載) 明橋 大二	令和1年
	「明橋先生の子育てハッピーコラム」 NPOこどもすべらず柏ニュースレター 明橋 大二	令和1年
発表業績(ウェブサイト掲載)	「ベビカム相談室」 (ウェブサイト掲載)	令和1年
	「明橋大二先生の子ども接し方ポイント」 保育fine(ウェブサイト掲載)	令和1年
発表業績(雑誌掲載)	「HSCを知っていますか？」 AERA with Kids 秋号	令和1年
	「ケイパブル」 公文教育研究会	令和1年
	「こどもちゃれんじぽけっと」 ベネッセ	令和1年
	「尾木ママとの対談」 月刊なぜ生きる9月号	令和1年
発表業績(その他)	「明橋大二の大丈夫ですよ！子育て相談室」 KNBラジオ(毎第二、四火曜日) 明橋 大二	令和1年
発表業績(著書)	HSCを守りたい(対談協力) 風鳴舎	令和1年7月
	ハッピースクール開校！友だち、勉強、家ぞくのなやみ あけはし先生にきいてみよう 1万年堂出版	平成31年3月
	教えて、明橋先生！何かほかの子と違う？HSCの育て方 Q&A 1万年堂出版	平成31年2月

【令和1年度医師業績集】

発表業績(講演)

一宮市子育て支援センター	令和1年12月14日
マミーズネット(上越市)	令和1年12月13日
金沢市DV講演会	令和1年11月26日
丹波市	令和1年11月23日
射水市地域連携交流会	令和1年11月22日
子どもの権利条約フォーラム東京大会	令和1年11月17日
岐阜県障害幼児研究会	令和1年11月15日
七尾市立東湊小学校	令和1年11月9日
健やか親子21千葉大会基調講演	令和1年11月7日
敦賀市	令和1年11月5日
日本交流分析協会北陸支部	令和1年11月4日
静岡市	令和1年10月18日
一般社団法人HAT(名古屋市)	令和1年10月5日
みやぎ心のケアセンター(石巻市)	令和1年10月4日
日本赤十字乳児院協議会(富山市)	令和1年10月3日
富山市子育て支援センター	令和1年9月28日
福岡県大刀洗市	令和1年9月23日
チャイルドラインすぎなみ	令和1年9月21日
新潟市寺尾幼稚園	令和1年9月20日
高岡市教育センター	令和1年9月17日
長野市幼稚園認定こども園研修会	令和1年8月23日
高岡市立国吉小学校	令和1年8月6日
八重洲ブックセンター・トークイベント	令和1年7月27日
新潟県保育士会	令和1年7月26日
新潟県糸魚川市公立幼保研究会	令和1年7月20日
生駒市	令和1年7月15日
栃木県河内地区PTA指導者研修会	令和1年7月12日
愛知県知多郡保育事業協会	令和1年6月29日
愛知県豊川市	令和1年6月29日
中新川郡学校保健研修会	令和1年6月28日
石川県立看護大学	令和1年6月18日
中部ブロック児童養護施設乳児院研究協議会	令和1年6月7日
富山県砺波学園	令和1年6月4日
長野県山形村	令和1年6月1日
大津市たけのこ保育園	令和1年5月18日
金沢文苑堂	平成31年4月20日
名古屋市 里親フォーラムあいち	平成31年3月23日
岡崎市葛屋書店	平成31年3月21日
射水市木の子ハウス	平成31年3月18日
金沢市子ども夢フォーラム	平成31年3月16日
高岡子育て支援センター	平成31年3月14日
品川区	平成31年3月9日
渋谷区トークイベント	平成31年3月9日
茨城県ひたちなか市	平成31年3月8日
氷見市南大町こども園	平成31年3月5日
富山市紀伊国屋書店	平成31年3月2日
岐阜県公認心理師会	平成31年2月23日
岐阜市	平成31年2月23日
長野市	平成31年2月22日
富山県職員労働組合	平成31年2月16日
長野県阿智村	平成31年2月11日
南砺市(エコトママン主催)	平成31年2月2日
金沢市東山こども園	平成31年1月25日
大阪市葛屋書店	平成31年1月14日
島根県家事・育児フォーラム(松江市)	平成31年1月13日
岸和田市	平成31年1月12日
河内長野市	平成31年1月11日

【令和1年度看護部業績集】

発表業績(学会)	中心静脈ポート管理者研修の教育システムの構築の成果とその意義 第74回 富山県医学会 黒川依子	令和2年1月19日
	当院のCKD看護相談の取り組み～協働する意思決定支援～ 第33回 富山県透析看護研究会 森田茜	令和1年12月1日
	在宅療養を可能にした終末期腹膜透析患者に対する腹膜透析看護師の役割 第25回 日本腹膜透析医学会学術集会・総会 森田茜	令和1年11月23日～ 令和1年11月24日
	どうしてる？困った症例、悩んだ対応～私の施設はこうしています～ 第35回 日本視機能看護学会学術総会 松本靖子	令和1年11月3日
	初回白内障手術経験が2回目手術に及ぼす影響 第35回 日本視機能看護学会学術総会 古瀬由紀子	令和1年11月3日
	在宅療養を可能にした終末期腹膜透析患者に対する腹膜透析看護師の役割 第49回 富山県腎疾患・人工透析研究会 森田茜	令和1年9月8日
	せん妄患者の苦しみに意識を向けたケア～チームの方針が抑制解除につながった事例～ 第24回 日本緩和医療学会学術大会 能登由美	令和1年6月21日

【令和1年度地域医療部業績集】

発表業績(学会)	「病診連携成功への奇蹟」開業医が病院に何を求めているのか 日本病院学会 高森裕美子、齋藤美世、中神勇輝	令和1年8月1日
----------	---	----------

【令和1年度PTS推進室業績集】

発表業績(学会)	外国人患者受入れ体制整備と課題(口演発表) 第74回富山県医学会 夏山ほのか	令和2年1月19日
	地方小規模病院の受入れ体制整備と課題(口演発表) 第4回国際臨床医学会 夏山ほのか、佐々木彰一、齋藤美世、村瀬由佳、表野季実子、宮下麗娜、吉田充寿	令和1年12月14日
発表業績(新聞)	外来フロアにおける円滑な一次救命体制～フロアマネジャーのスキルアップ～ 全日本病院学会 吉岡尚子	令和1年9月29日
	増える外国人患者対応-言葉の壁、未収金が病院圧迫-福岡で学術集会、公的支援求める声 産経新聞九州総局(紙面・デジタル版) ※第4回国際臨床医学会にて発表した演題の概要+インタビュー内容が掲載されました。	令和2年1月24日

【令和1年度訪問看護ステーションこころ業績集】

発表業績(学会)	訪問看護ステーションにおけるICT導入による効果と今後の課題 第74回富山県医学会 大槻礼子、下村明子、荻村葉実子、中井ともこ	令和2年1月19日
----------	---	-----------

【令和1年度診療情報管理室業績集】

発表業績(学会)	EVEを活用した改善活動 第11回MDV北陸地区勉強会 関口佳津子	令和1年5月25日
----------	---	-----------

【令和1年度臨床心理科業績集】

発表業績(論文)	「何もしていない」透析患者との心理療法 箱庭療法学研究 第32巻 第2号 坂井朋子	令和1年11月30日
発表業績(学会)	心理的な支援が必要な生徒への適切な対応と保護者支援について 富山県立しらとり支援学校 令和元年度特別支援学校障害種別研修会 田邊 裕	令和1年8月20日

【令和1年度緩和ケア内科業績集】

発表業績(論文)	せん妄患者とのコミュニケーションを阻害する要因の探求」～看護師のせん妄ケア体験の現象学的解明～ 日本がん看護学会誌 科学論文プラットフォームJ-STAGEに掲載 長久栄子	令和2年3月20日
----------	---	-----------

【令和1年度医事課業績集】

発表業績(学会)	診療報酬改定における体制づくり～病院全体の取り組み～ 第61回 全日本病院学会in愛知 郷倉美貴, 深田佳栄子, 中神勇輝, 荒谷真由美, 佐藤恒輝, 栗原香織	令和1年9月28日
----------	--	-----------

【令和1年度医療秘書課業績集】

発表業績(学会)	クリニックへの診療情報提供に対する医師事務作業補助者の関わり 日本医師事務作業補助研究会 第1回富山地方会 岡本康宏	令和1年7月13日
----------	--	-----------

【令和1年度リハビリテーション科業績集】

発表業績(学会)	ARCR術後肩関節位置覚と肩関節機能の関連性について 第16回肩の運動機能研究会 高橋武広, 太田悟	令和1年10月25日～ 令和1年10月26日
	両TSA術後、片手用洗体タオルにて入浴動作自立に至った一症例 第16回肩の運動機能研究会 佐賀真也, 高橋武広, 太田悟	令和1年10月25日～ 令和1年10月26日
	頸椎症及び肩甲上神経障害を併発した腱板損傷に対し、術後挙上困難が続いている一症例 第16回北信越肩関節フォーラム 旅賢太	令和1年7月20日

【令和1年度食膳栄養科業績集】

発表業績(学会)	栄養サポートにおける地域包括ケア～急性期病院と在宅訪問管理栄養士との連携体制～ 第23回日本病態栄養学会年次学術集会 結川 美帆, 織田 英子, 中井 ともこ, 豊田 茂郎	令和2年1月25日
	早期に栄養介入を行い退院支援を行った胃瘻の血液透析患者の一例 第64回日本透析医学会学術集会・総会 結川 美帆, 波部 孝弘, 二村 明広	令和1年6月29日
発表業績(講演)	健康づくりは食事から 今日からあなたも健康美人～医食同源の歴史に学ぶ～ 武生市民公開講座 結川 美帆	令和1年11月17日

【令和1年度薬剤科業績集】

発表業績(学会)	病棟薬剤業務実施加算取得への取り組み 富山県医学会 田畑 佳孝, 島塚 侑子, 浅井 美和, 内藤 義徳, 本多 優理, 山崎 由香, 後藤 敦史	令和2年1月19日
	身体的苦痛を増強させていた要因の検討～トータルペインの視点から～ 第13回日本緩和医療学会年会 山崎 由香, 炭谷 真由美, 長久 栄子	令和1年6月1日～ 令和1年6月2日

【令和1年度検査科業績集】

発表業績(学会)	毛細血管の検討 第74回富山県医学会(富山県医師会館) 富岡 由美, 羽田 麻美, 田島 和浩, 平名 浩史	令和2年1月19日
----------	--	-----------

【令和1年度視能訓練科業績集】

発表業績(論文)	特発性黄斑上膜におけるFAZ形状と視機能の関連について 掲載雑誌: 日本視能訓練士協会誌 Vol.48:117-124 谷口 良輔	令和1年
発表業績(学会)	「OCT Angiographyを用いた強度近視眼における緑内障判定の有用性」 筆頭演者: 楢 日出雄 共同演者: 谷口 良輔, 山田 一樹, 舘 奈保子	第74回富山県医学会 令和2年1月19日
	「遠視性不同視弱視における眼軸長・角膜屈折度数の経時的変化」 筆頭演者: 福留 隆夫	
	「視覚障害認定新基準での身体障害者手帳の取得状況について」 筆頭演者: 永森 麻菜美 共同演者: 石本 真理, 高澤 美香, 田中 葉月, 山田 ひかり, 舘 奈保子	
	「OCT Angiographyを用いた糖尿病網膜症発症前の2年間の中心微小血管経時変化」 筆頭演者: 楢 日出雄 共同演者: 谷口 良輔, 山田 一樹, 舘 奈保子	第60回日本視能矯正学会 令和1年11月30日
	「光干渉断層計とMicro Perimeterを用いた固視評価の検討」 筆頭演者: 福留 隆夫 共同演者: 田原 文華, 摺崎 紗也佳, 谷口 良輔, 中村 和哉	
	「視覚障害認定新基準での身体障害者手帳の取得状況について」 筆頭演者: 永森 麻菜美 共同演者: 石本 真理, 高澤 美香, 田中 葉月, 山田 ひかり, 舘 奈保子	
発表業績(学会)	「OCT Angiographyを用いた強度近視眼における緑内障判定の有用性」 筆頭演者: 楢 日出雄 共同演者: 谷口 良輔, 山田 一樹, 舘 奈保子	第2回ECC(Eye Center Conference) 令和1年11月16日
	「光干渉断層計とMicro Perimeterを用いた固視評価の検討」 筆頭演者: 福留 隆夫 共同演者: 田原 文華, 摺崎 紗也佳, 谷口 良輔, 中村 和哉	
	「OCT Angiographyを用いた血管密度と緑内障性視野異常の関連性」 筆頭演者: 楢 日出雄 共同演者: 谷口 良輔, 山田 一樹, 舘 奈保子	
	「緑内障の早期診断に有用な測定パラメータの検討」 筆頭演者: 楢 日出雄 共同演者: 谷口 良輔, 山田 一樹, 舘 奈保子	第36回日本眼循環学会 令和1年7月19日
	「ポリプ状脈絡膜血管症に対する硝子体手術後の長期経過の検討」 筆頭演者: 谷口 良輔 共同演者: 楢 日出雄, 山田 一樹, 中村 和哉, 舘 奈保子	
	「明日から使えるOCT・OCTA画像検査～緑内障・糖尿病網膜症を中心に～」 演者: 楢 日出雄	
発表業績(講演)	視能訓練士の立場から～当科の強みを活かした組織づくり～ 日本視機能看護学会 楢 日出雄	令和1年11月4日
	障害・疾病の理解① 富山県同行援護従事者養成研修一般課程 福留 隆夫	令和1年8月6日
	「間欠性外斜視～検査と視能訓練～」 演者: 福留 隆夫	石川県視能訓練士会学習会 令和1年6月19日

2019年度（平成31年度） 真生会事業計画

【統一テーマ】『まず利他を考えよう。』 自部署（自分）の取り組みが誰を幸せにするのか（利他）を常に考えて取り組もうということです。

- 【方針】 1、地域包括ケアシステムの構築のため何ができるか考え実行する。（地域貢献）
2、部門・職員が力を付けて成果を出す。（成長・キャリア開発支援体制整備）
3、みんなが笑顔になるための基礎を固める。（人事制度浸透・働き方改革の推進・職員満足度改善）

	テーマ(重点項目)	行動計画	実行できたか？ その理由は？	求める結果	求める結果は達成されたか？ その理由は？	推進担当
事業推進	外来の生産性向上 ○横断的に検討する体制の構築 ○各センター機能の強化	・横断的な視点で課題を抽出する ・効果の高い取り組みを策定する ・ICT化等、効率化の検討 ・待ち時間改善に取り組む	◆できたこと ・健診センター、アイセーターのシステムやの変更を検討を進めることができた。 理由は、現状把握、関係者との打ち合わせ、関係部署が一緒に他施設の見学等を行い、課題解決に向かうことができたから。 ◆できなかったこと ・外来全体を横断的に検討するような多職種連携窓口（職種横断的に考える集まり）の設置はできなかった。 理由は、「話し合えるレベルまで問題を具体化し、議論の土俵に上げられなかった。結果として、具体的な目標設定ができず、現状とのギャップ、課題設定等を詰めることができなかった」から。	・職員の負担軽減 ・外来利益率の改善	◆達成されたこと ・外来利益は改善した。11月時点で、1億円近い改善。 理由は、増収した診療科が多い中、コストの増加が、ほとんど無かったから。 ・残業時間全体の増加は見られなかった。 ・職員の負担軽減については、継続して取り組んでいる。 理由は、（一部ではあるが）、ICT化、システム変更など、改善策について、現場スタッフと、事務スタッフと協力して、改善に向かえたから。	改善推進室 企画課
	スムーズな入退院支援による在院日数の適正化 ○患者支援センターの稼働	・情報共有の仕組み構築 ・退院支援フローチャートの運用	・毎朝の多職種の会合により、早めの患者情報の共有ができるようになった。 ・作成した退院支援フローチャートの内容が細かく、運用まで行えなかった。ただし、作成工程で多職種で話し合っていたため、フローチャートの全運用に至らずとも、的確な指示出しはできるようになったと考える。 ・初回面談時からMSWとの情報共有やケアマネとの情報交換により スムーズな退院支援に繋がる窓口として役割を果たしている。 ・MSWの行う転院相談の医療的・看護的側面のサポートを行うようになった。 ・支援センター面談者の共有必要情報は病床管理会合にて多職種にて共有。 上記を踏まえ、支援センター開設初年度の活動として当初設定の役割は果たせている。今後更に内容の充実や個人スキルの差をなくシステムの構築や育成、自己研鑽が必要であり、質の良い人材配置により、より一層の役割拡大や業務内容の拡充が図れる見込みがある。	・在院日数の適正化 ・効率性指数の向上 ・予定入院（アイセーターは検討中）を全てカバーする ・患者支援センターを通しての入退院の流れを確立する	・予定入院患者に対し（眼科、病状が不安定であり即病棟への入院対応が必要な方等の例外を除き）支援センター稼働時間帯は全てに対応している。 稼働実績は月平均で面談件数約41件、入院時対応約54件。 ・在院日数は、8.6日⇒8.0日（全体） 12.3日⇒12.0日（眼科を除いた在院日数）ともに短縮。 ・効率性指数は、目標1.25以上に対し、1月までの平均は、1.39と目標より上であった。 ・予定入院は、概ねカバーできている。患者フローの検討、作成を行い、その通りに行っている。 ・入退院の流れは、毎朝の会合で、情報共有を行い、流れの見える化、対応体制を向上させることができている。	患者支援センター 準備室
	在宅機能の強化による地域貢献 ○看多機の設立準備	・建物建築準備 ・資金・人員・運用計画の詳細化 ・行政との調整	建物に関しては、関係者で建設会合を重ね、ほぼ設計が完成した。行政との調整により約4000万円の補助金を受けれることになり、入札にて建築業が決定した。5月より着工、11月末には完成予定。 人員計画は、進んでいない。種々の運用計画については計画より遅れて進行中。	・2021年3月オープンに向けて、2019年度までに必要な準備ができること	計画書項目について全て準備中である。	看多機プロジェクト
	地域とのコミュニティ作り ○患者、職員、他施設職員、地域住民が集まる場を作る ○地域への発信	・外部から院内に来てもらう（病診連携の会、地域連携交流会、ケアカフェ、認知症カフェ、認知症相談会、健康ワンポイント教室、開業医からの紹介患者 など） ・院内から外部に出ていく（開業医訪問、病院訪問、出張講座、逆紹介など） ・外部で行う院内の行事（健康セミナー、地域連携懇話会）	・左記の項目は、概ね前年度以上に行えた。 特に逆紹介、開業医訪問の成果は取り組みの結果が良い方向に出ている。 出張講座は伸び悩んでいるが、依頼を待つだけなので、理由は不明である。 （数字上の変化は下記の通り） ・逆紹介件数（当院の規定）は、目標月12件に対し、月平均32件と大幅に上回る結果であった。 ・逆紹介率（一般的な計算方法）では、前年度、7.6%から、8.7%と向上した。 ・開業医訪問は、前年度、月平均21件から、今年度は、月平均32件と増加（岐阜への開業医訪問も行った）。	・地域住民が安心して暮らせる ・介護施設との連携がしやすくなる ・開業医からの紹介が増えること ・開かれた組織となり、患者、他の医療機関、施設などから利用してみたい、仲良くなりたいと思われること ・予防医学が普及されること	紹介患者は増加している。 他の施設との親近感は増えていると思われる。 地域住民にとって安心できる存在になりつつある。 地域連携懇話会、健康セミナー（健康チェックの取り組み）、地域の栄養改善の取り組み、他にもいろいろ行っている。ただし、医学知識の啓蒙、予防医学の普及はまだまだである。 （数字上の変化は下記の通り） ・開業医からの紹介件数は、前年度、月平均157件から、今年度は、月平均170件となった。	地域医療連携室
	国際化対応 ○外国人患者の受け入れ等	・院内体制整備（電話通訳・タブレット通訳の周知浸透、院内表示の多言語化、JMIPでの指摘事項の改善） ・外国の医療機関や医療コーディネーターとの連携 ・外部関係機関との連携（射水市役所への訪問・協力体制の模索、国内の医療機関や観光関連機関との連携）	・院内体制整備を進めている。 ・外国の医療機関や医療コーディネーターと連携している。 ・外部の関係機関と連携を進めている。	・文化や言語の違いにかかわらず、すべての人が医療を通じて、安心・満足を得られるよう支援すること	・ある程度の支援はできている。できていない事例や困難な事例もある。すべての職員に知見を浸透させるまで、働きかけが必要と思われる。	国際医療支援チーム
	真生会関連施設への支援拡大	・田中内科クリニックの経営計画策定 ・上記実践のためのマンパワーの投入 ・不動産について、地主、家主との交渉 ・医師の支援体制を整備する	・田中内科クリニックの法人化ができた。 ・北澤医師が院長となって、2診体制になった。 ・地主、家主と交渉し、ほぼ満足な条件で不動産を取得できた。 ・クリニックの職員は従前どおり。病院の管理部、経営企画部、情報室から必要なサポートがあり、法人化できた。	・真生会の自利利他の医療を高岡市にも展開するための足がかりとなること ・法人の経営基盤にプラスになること ・地域住民が安心して暮らせる医療提供体制を確立すること	・足がかりはできた。 ・黒字を出していて、法人の経営に貢献。 ・従前の患者さんを継続して診療している。	事務長 企画課

2019年度(平成31年度) 真生会事業計画

【統一テーマ】『まず利他を考えよう。』 自部署(自分)の取り組みが誰を幸せにするのか(利他)を常に考えて取り組もうということです。

- 【方針】 1、地域包括ケアシステムの構築のため何ができるか考え実行する。(地域貢献)
2、部門・職員が力を付けて成果を出す。(成長・キャリア開発支援体制整備)
3、みんなが笑顔になるための基礎を固める。(人事制度浸透・働き方改革の推進・職員満足度改善)

	テーマ(重点項目)	行動計画	実行できたか？ その理由は？	求める結果	求める結果は達成されたか？ その理由は？	推進担当
基盤整備	働きがい・働きやすさの向上 ○人事制度浸透 ○キャリア開発支援 ○自律進化型組織作り ○職員満足度改善	・キャリアラダーを育成プログラムに連動させる ・HIT-Bitの定着 ・幹部育成プログラム作成(研修企画等) ・人事制度の『運用』のバージョンアップ ・働きやすい職場づくりを検討する	・キャリアラダーは各部署に委ねられた。 ・HIT-Bitは定着しつつある。 ・幹部育成プログラムは未作成。HIT-Bit研修がその役割になるかもしれない。 ・人事制度の運用はバージョンアップした。 ・役割行動基準を改訂した。 ・働きやすい職場づくりは検討中。職員交流を促すことから取り組んでいる。	・働く環境(ソフト面)や仕組みを整備することにより、職員が『働きがい』をより感じられるようになること	・自利利他の実践を情報共有することで、働きがいにつながりつつある。上意下達だけでなく、気持ちや価値観を大事にする考え方が浸透し始めた。	キャリア支援室
	真生会職員としての基礎学習	・自利利他の精神について理解を深める ・医療倫理に対する理解を深め、実地に生かす	・年初より、2ヶ月に1回、1回2時間、真生会における自利利他の精神とそれに伴う行動について会合を行った。 ・フレッシュセミナーで医療倫理について臨床倫理委員会の委員長が講義を行った。 ・4月に「身体拘束の同意書の作成と家族説明」について、医局および看護部に周知を行った。 ・4月に医局会で「医療倫理の流れ、よくある倫理的課題の当院の方針」について臨床倫理委員会の委員長が講義をした。 ・5月に盛永審一郎先生を招聘し、臨床倫理の講義(シリーズの最終回)を開催した。 ・8月に厚生連高岡病院で開催された医療倫理のワークショップに参加し、医療倫理について学んだ。 ・9月に南砺市民病院の清水幸裕院長先生を招聘し、東京大学CBEL方式の倫理コンサルテーションについて学んだ。 ・8月と11月に看護部倫理部会の主宰で模擬倫理コンサルテーションを1回ずつ開催した。 ・10月に医局会で「正しいDNAR指示」について臨床倫理委員会委員長が説明を行った。 ・よくある倫理的課題の病院としての方針の決定を行った。「遺伝性疾患における倫理」「告知」 ・11月から毎月1回、医療安全管理室・看護部医療安全と合同のカンファレンスを開催。 ・倫理コンサルテーション8件(2月14日現在)	・自利利他の精神への理解を深めることで、真生会にふさわしい行動ができる職員となる ・医療倫理上、適切と言われている行動ができるようになる	・2025年ビジョンの2番目に「職員の幸せを実現する」を設けた。 ・倫理コンサルテーション8件は、近隣の医療機関と比べて、件数は多いように思われる。しかし、未だ、ごく一部の職員が倫理的課題に気づき、問題提起している段階であり、医療倫理上、適切と言われている行動、すなわち多職種倫理カンファレンスが職員全体に浸透しているとは言い難い。模擬倫理カンファレンスを全職種に広げるには、いくつもの乗り越えるべき課題が存在する。当院の緩和ケアの歩みに学び、専属で取組むスタッフの存在が不可欠と考える。	院長副院長 倫理委員会
	計画的な人材基盤づくり	・長期スパンの人員計画の検討 ・後継者育成体制の検討 ・人材育成・福利厚生等の資源配分の検討 ・採用活動の見直し ・多様な働き方の推進 ・パート・定年後再雇用後の人事制度の見直し ・障がい者雇用の推進 ・人材育成に必要な時間とパワーを確保する	・検討事項、見直し事項は実行したが結論には至っていない。 ・推進事項の内、障がい者雇用は実行できた。多様な働き方の推進は不十分。 ・人材育成に必要な時間とパワーを確保することはある程度実行できた部署もある。 理由:実行意思はあったが、計画内容が抽象的だった。	・(広義の件数費の観点から)コストパフォーマンスを上げる ・経営基盤の持続可能性を見極める ・人に関する予算案を作成すること ・応募者の増加 ・必要な人材の確保	・コストパフォーマンスは上がったが、このテーマとは別の成果と思われる。 ・経営基盤の持続可能性は、人材確保については未だ不透明。 ・人に関する予算案は作成できていない。 ・応募者は微増。 ・必要な人材は、一部足りない。 理由:行動計画の見直しが必要。	経営企画部
	建物整備(機能の最適化)	・旧透析跡地の改修工事 ・管理棟1階の改修工事及び跡地の検討 ・総合エントランスの見直し検討及び工事 ・新駐車場の工事	・新駐車場の工事以外は完了	・工事の完了 ・快適な診療環境 ・快適な職場環境 ・費用対効果の高い状態	・計画通り完了した(新駐車場は工事中) ・今のところ問題なく使用されている様子	全体整備企画室 施設管理課
	情報システム ○新電子カルテの稼働及び運用	・5月に稼働	実行できました。 理由は、医師・看護師・医事課・医療秘書課・メディカル他、ほぼ全職員が全面的に協力してくれたため。特に、何度もリハーサルに参加して頂いた事がよかった。	・稼働と安定的な運用	当初、若干のトラブルが発生したが、外来診療の完全停止には到らず、許容範囲と考えられる。優秀なスタッフの入念な準備の結果です。一方では、各部署に我慢して頂いた部分も多く、これは、徐々に対応して行きたいと思います。	情報室
	経営効率の向上 ○収支構造の見える化	・部門別原価計算、疾患別原価計算を行う ・各診療科の経営支援 ・各部門の経営支援 ・各種コスト削減 ・自費診療の拡大、値段の見直し	◆実行できたこと ・部門別原価計算の試作、関係部署との話し合いを行なっている。算出した数値から考えられることについて、改善策等、一部の診療科と打ち合わせを行なった。 理由は、資料作成の仕組みができたことや、定期的な会合で情報を発信する機会があったから。 ・ローコスト活動も行い、一定の成果が出た。 理由は、トップからの発信、定例会合でのPDCA、情報共有する範囲を拡大する等を行えたから。 ・多焦点レンズの価格変更、また消費税増税に合わせて、差額ベッド代等の変更を行なった。 理由は、業者との交渉、近隣病院の相場確認、差額ベッドの減免防止等の取り組みを行えたから。	・計算の精度を上げること ・改善行動につなげられるよう、必要な情報が必要な人に届いていること ・利益率の向上 ・収益の増加 ・その他事業計画数値目標の達成	◆達成されたこと ・外来は異字化(利益が大幅増加)した。 理由は、全体的にも収益が上がると、透析患者数や眼科手術などの件数増や、各科、セクションの努力により、総合的に利益が底上げがなされたから。 ・関係部署に原価計算などの数字に関する会合を行った。ローコスト活動に際し、経費を具体的に示した。 ・原価計算の精度は徐々に高まってきている。 理由は、関係部署との話し合いが始まり、疑問点への対応を始めたから。 ・事業計画の数値目標は、月によって、多少の変動は概ねあるものの、目標を達成している月が多い。 理由は、個別の項目の説明は省略するが、進捗状況を毎月、確認しフィードバックを行ったこと、達成できていない部分についても、なぜできていないのか、詳細を見てきたから。	企画課

令和1年度 10大ニュース

総合 順位	ニュース
1位	効率性係数全国第1位(令和1年8月)
2位	エントランス改修と整理券配布・風除室開錠・受付機稼働時刻の変更 (令和1年6月)
3位	患者支援センター開設(令和1年5月)
4位	新・電子カルテ稼働(令和1年5月)
5位	ローコスト活動の取り組み(通期)
6位	院内保育(木の子ハウス)をスクルドアンドカンパニーに業務委託開始 (令和1年10月)
7位	田中内科クリニック承継(法人化)(令和1年11月)
8位	外国人患者受入れの拠点的な医療機関に選出(令和1年12月)
9位	フィットネスWe(体力増進施設)が開設(令和1年8月)
10位	新型コロナウイルス感染対策本部を設置(令和2年2月)